

令和5年11月29日

丸亀市民会館開館準備事業

即興演劇の手法を用いたコミュニケーション
ワークショップ・公演業務委託

報告書

【業務内容】

DAY1 : 2023.11.18

DAY2 : 2023.11.19



ワークショップ



インプロLIVE

即興演劇ワークショップ

概要	日時	講師	場所	参加者
自己肯定感を高め、想像力や創造力を育成し、自己表現や他者受容等のコミュニケーション能力を養うもの 自分の感じていること・考えていることを表現する。 上手くいなくても笑い飛ばす。 相手の話を聞く、自分の考えを伝える	令和5年11月18日(土) 13時～16時	渡 猛 (即興エンターテインメント集団ロクデイル共同主宰)	ひまわりセンター4階研修会議室1・2	9名(一般の方、演劇経験者など)

【ワークショップ写真1】



WS2 : 感覚言語を感じる

連想ゲーム

三、四人組(後に二人組)で、言われて思い浮かんだ単語を次の人へ伝えていく」

何も思い浮かばない場合には真っ白！と言い、再び連想をしていく」



WS1 : アイスブレイク

導入

隣の人に向けて手を叩き、さらに隣へ次々と繋いでいく」

慣れてきたら逆向きにも繋いでみる」

言葉だけでなく身体的コミュニケーションに意識を向ける」

【ワークショップ写真2】

DAY1



WS4 : 個々の感覚の差を体験

動く側とお知らせ側のモノゴトの感覚に差があると困惑してしまう」

をすれば音でお知らせする」

え、相手が近い動き

と(行動や動作)を考え、相手が近い動き

相手にしてほしいこと

なんとなく(動く)



WS3 : オファー・アクセプト

二人組で配役し即興で演じる」

演目

誕生日

プレゼント

シーン1

相手を想った

プレゼント」

シーン2

自分の大事なものを

プレゼント」

即興で芝居を①

【ワークショップ写真3】

DAY1



WS6 : それぞれの感想を共有

WSを体験して印象であった事を自身で振り返る」
特に印象だったことを一っだけ参加者の全員と共有する」

振り返り



WS5 : 場の雰囲気を感じる

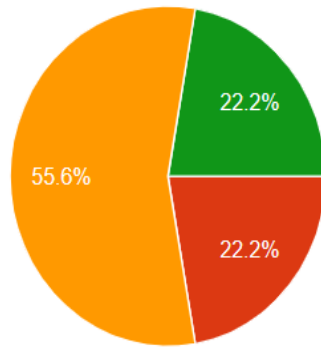
二人の演者とエキストラ三人」
ルール
居心地が悪いと感じたら、相手を退場させることができる」
エキストラはニューtralな気持ちで客観的に見る」
演目
友人の家で良い時間を過ごす

即興で芝居を②

【アンケート結果】 回答数9件

DAY1

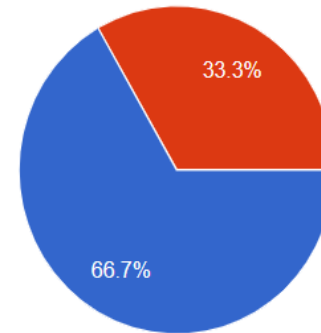
あなたの年齢を教えてください。



(0) ● 20歳未満
(5) ● 20歳~39歳
(2) ● 40歳~64歳
(2) ● 65歳以上

設問 1

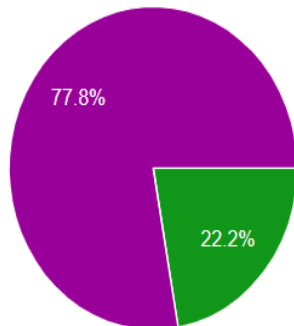
演劇の経験がありますか



(6) ● はい
(3) ● いいえ

設問 2

ワークショップを楽しむことができましたか



(0) ● まったく思わない
(0) ● 思わない
(0) ● どちらでもない
(2) ● 思う
(7) ● とても思う

設問 3

自分にとって印象に残ったこと、楽しかったこと、嬉しかったこと、大切だと思ったことなど、何か発見がありましたか

- ・何も考えずに純粋に今を楽しむ幸せを実感できた。
- ・本当の自分を出せてない感覚があったが、ワークが進むにつれて他の人たちと一緒に楽しみ、考えることで自分の成長を感じ、演劇に関わりたい、もっと学びたいと思えた。
- ・人は周りの人で笑いのある日々が得られると思った。
- ・「目を見ていても、見ていない」ことがある。
- ・失敗しても笑えることが幸せだと感じた。
- ・とても心地よい空間で、とってもいい時間を過ごせた。

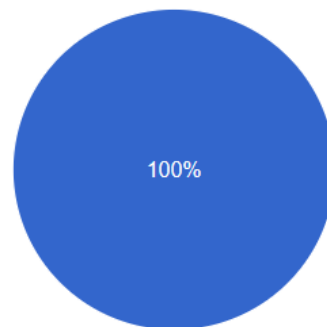
設問 4

(n数)

【アンケート結果】 回答数9件

DAY1

その発見や気づきは自分の職場や人生に活かせそうですか



(9) ● はい 次の設問へ
(0) ● いいえ

設問 5

具体的にどう活かせそうですか

- ・ 今後、人生の選択肢として演劇を学ぶことを前向きに考えられそう。
- ・ 笑いをもって人との絆を深めるよう努力したい。
- ・ ○（許容）の範囲を広げることがよいと思った
- ・ 人と楽しく関わることができそうで、どんな事があっても発想の切り替えをして、乗り越えることができると思えた。
- ・ 仕事でもノータイムでヘルプ（真っ白）を叫べるようにしたい。
- ・ 人と話して笑うこと。
- ・ 毎日、いろんな人と関わる時に、自分がどう思っているか、感じたかなど、気づくことが増えると思う。

設問 6

(n数)

即興演劇ライブ

概要

即興芝居プレイヤー渡猛によるひとり即興ライブを開演する。観客から募った言葉（身近な人に言いたい一言など）をもとに台本や打合せがないお芝居をその場で即興でつくりあげるもの。国指定の重要文化財である丸亀城大手一の門で行う本公演は、会場の歴史を感じながら失敗を恐れず挑戦する楽しさ」を鑑賞者に感じていただく。

日時

令和5年11月19日(日)14時開演

出演

渡 猛

(即興エンターテインメント集団ロクデイル共同主宰)

場所

丸亀城 大手一の門

鑑賞者

「16名」

DAY2

DAY2

【ライブ写真1】



11/18 (前日)
会場設営

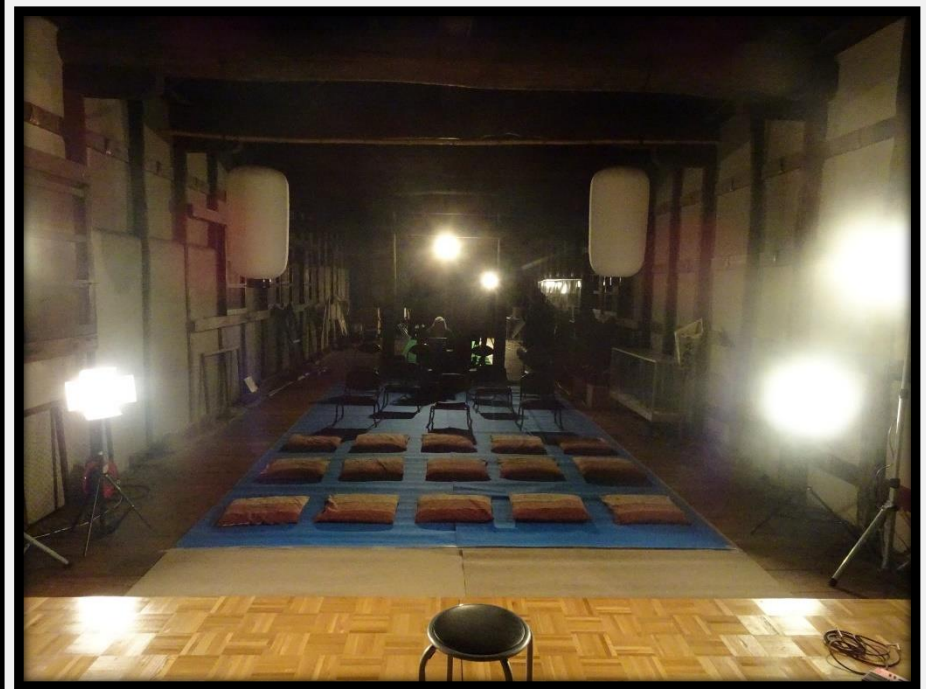
事前準備

客席から舞台を
見る」

11/18 (前日)
会場設営

事前準備

舞台から客席を
見る」



【ライブ写真2】

演題

「丸亀城の武士」の話
「我が子とライブ鑑賞」の話
「先輩落語家をやめさせる」の話



2

開演準備

観客から募った「一言」を
舞台へ散りばめるシーン



1

開演前

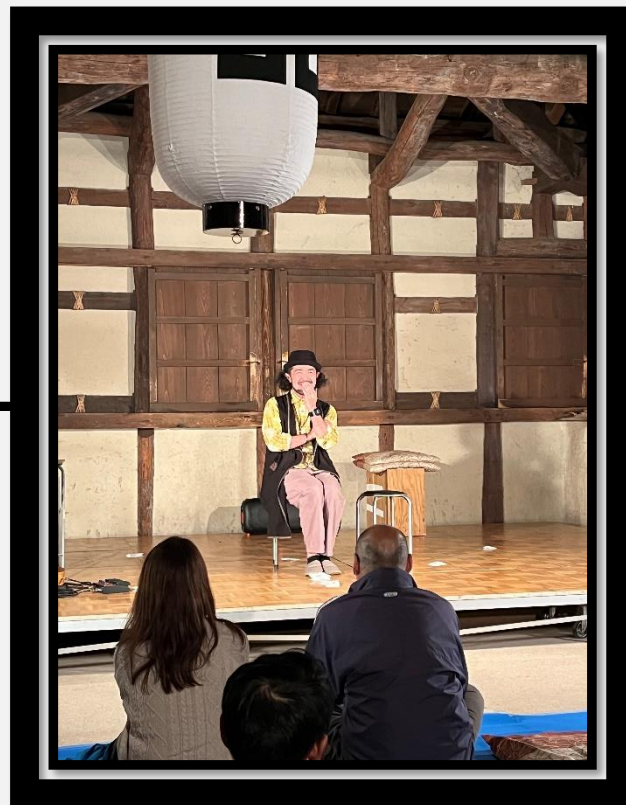
14時（開演）5分前
鑑賞者16名

【ライブ写真3】



5 演題「先輩落語家をやめさせろ」

先輩の落語家を辞めさせるため、
どちらが物言うのか、弟子の2
人が押しつけ合う話



4 演題「我が子とライブ鑑賞」

【観客から募った物語】
小学5年生の息子ケンタと
お母さんがコンサートに行く話



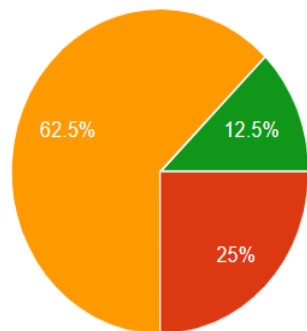
3 演題「丸亀城の武士」

大手一の門の石落としを使った
イケウチという名の武士に
まつわる戦の話

【アンケート結果】 回答数16件

DAY 2

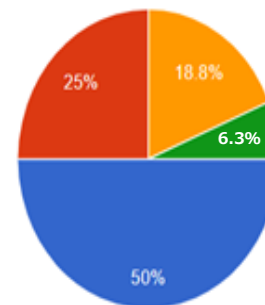
あなたの年齢を教えてください。



(0) ● 20歳未満
(4) ● 20歳～39歳
(10) ● 40歳～64歳
(2) ● 65歳以上

設問 1

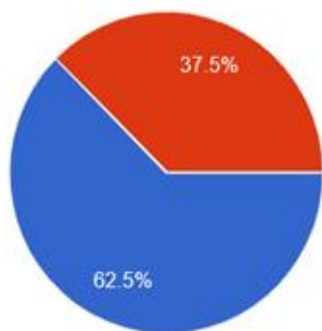
日常的に演劇を鑑賞する機会がありますか。



(8) ● しばしば鑑賞する (1年に数回)
(4) ● たまに鑑賞する (1年に1回程度)
(3) ● めったに鑑賞しない (数年に1回程度)
(1) ● 鑑賞したことがない

設問 2

「即興演劇」の公演をご覧になったことがありますか。



(10) ● 観たことがある
(6) ● 観たことがない

設問 3

「即興演劇」のどんなところが魅力的でしたか。

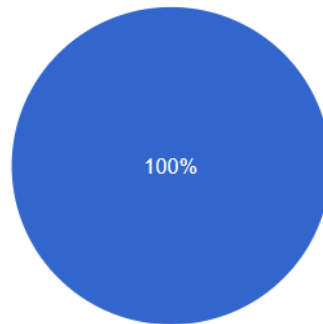
- ・ 会場の人々のキーワードで劇が作られているところおり、
- ・ 1人でどんどん突き進んで素晴らしかった。感動しかない。
- ・ 意表を突く展開、間がおもしろさを強調する、飽きない。
- ・ セリフのない演劇は別の感動がある
- ・ その場のその時の来場した人で、みんながつかない言葉が線（セリフ）になっていることが不思議で魅力的だった。
- ・ お客さんと一緒に作るライブ感がすごく、うれしい。
- ・ 予想できない展開。お客さんもストーリーに参加。役者さんの困った時の表情。同じことが二度とできない。

設問 4

(n数)

【アンケート結果】 回答数16件

次回このような公演が開催される場合は、来場したいと思いますか。



(16) ● 来場したい
(0) ● 来場しようとは思わない

設問5

やったことがないゲームにチャレンジしてもらおう。その中でうまくいかないことがある。失敗することはそんなに悪いことではない。チャレンジした証拠でもある。失敗することに対する姿勢を変えていく。場が安心安全だと、うまくいかないことを笑い合える雰囲気になる。そんな雰囲気がWSの中で生まれていた。上手くいくことも上手くないかないことも関わりの中で笑い飛ばしていく体験してもらえたと思う。」

筋が決まっていない即興芝居の中でいま自分が考えたこと、感じたことをパッと表現する。「どうしたら？」「下手だったらどうしよう？」など思考して自分を検閲する時間はない。その「パッと」表現してみることが大事。意外と楽しめたり、意外と上手にやっていたり、自分が思っていたよりも大きな自分を発見できたりする。また自分とまったく違う感性をもっている相手を感じたり、聴いたりして、人と関わることの難しさも面白さも体験してもらえたと思う。」

文化財の中で公演することの貴重さと即興の組み合わせは相性が良く、歴史をふまえた内容が楽しい・ワクワクしたという声や会場の雰囲気が良くリラックスして見れたという感想をいただけた。」

文化財の中であるにも関わらず自由にやらせていただきました。そのぶん、自由な表現ができ、温かいシーンもあり、感動的な話もあり、なんじゃそら〜！と笑えるシーンも出てきました。丸亀城一の門で皆が笑える瞬間を創れたことが嬉しいです。演劇を観ることは日々の活力になると思っています。本公演で演劇を身近に感じ、興味を持つキッカケになればと思います。」

